

AGRIST

NO AGRI, NO LIFE

農業の人手不足を AIと収穫ロボットで解決

「農業課題を解決する社会的企業」

AGRIST

info@agrist.co

ピーマン食べていますか？





国産のピーマンが
食べられなくなる

農業課題

農業の人手不足

儲からない



規模拡大
困難



担い手
不足



収穫ロボットで解決

2019年8月・開発開始から、わずか1年で
成長するソーシャルビジネスへ



1 : 稼ぐ！収穫ロボット
6台導入が決定済み

2 : ENEOSと世界展開
55兆円市場へ

3 : 時価総額1000億円

今までと何が違うのか？

農家視点で、今までに無い視点で開発



100%

?

完璧

?

高価

?

人手不足が深刻



~~100%~~

~~完璧~~

~~高価~~

20%

最低限

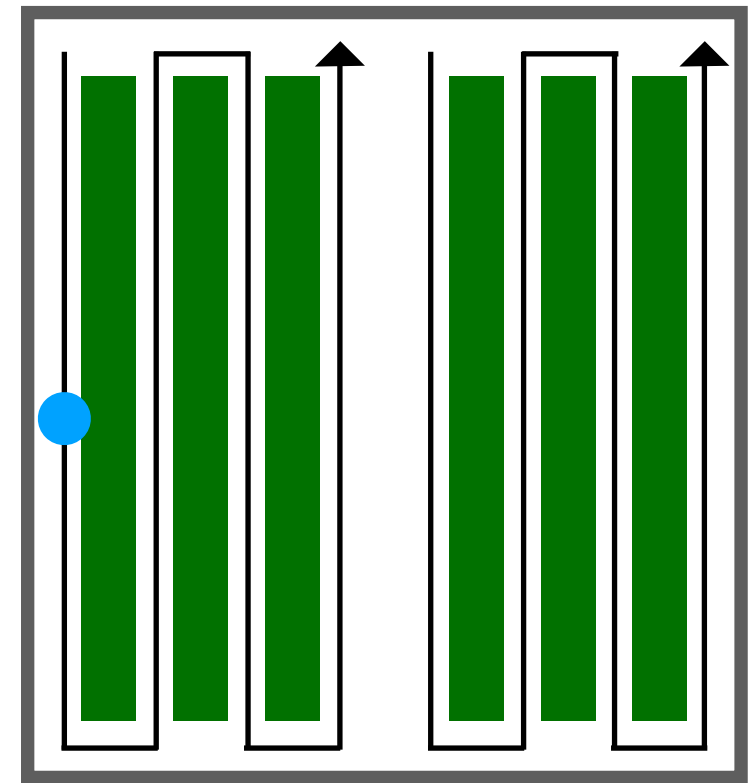
安価

会社紹介動画

<https://youtu.be/OzJ8Lbbnt3M>

AIでハウス全体をデータ分析

規模拡大の「壁」となる病害虫の早期発見



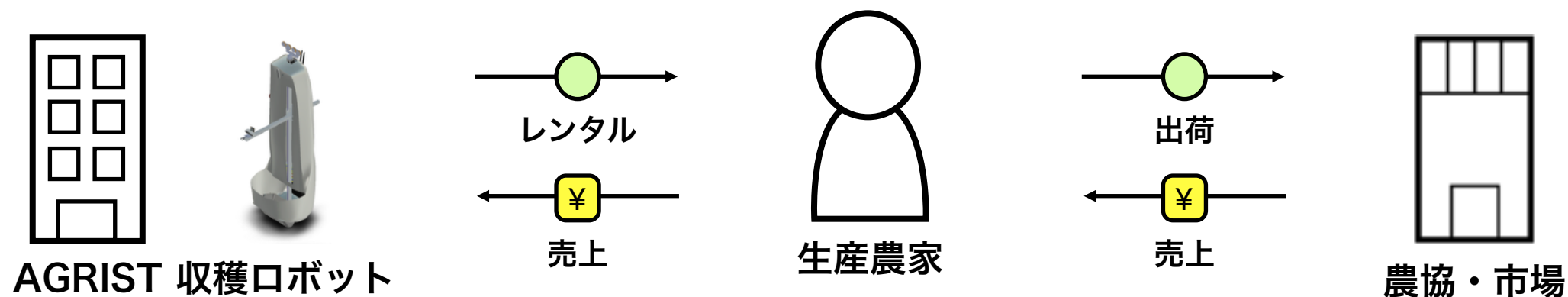
巡回してデータを測定

収穫の安定化：異常を早期に農家へ警告

ビジネスモデル

導入費：150万円 **(軽トラ買う感覚)**

手数料：ロボット収穫売上の10%



販売するのではなく、ロボットを農家にレンタル
初期導入費には、3年間のメンテナンス費用含む

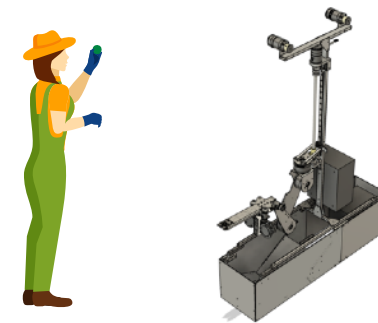
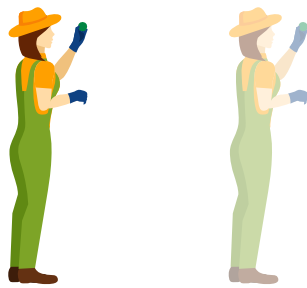
本当に導入するのか？

農業所得が向上①

労働力を確保▶収穫量20%アップ

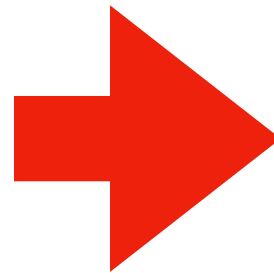
現状：人手不足

導入：労働力確保



収穫量 **13t** / 10アール

「本当はもっと収穫できる」



収穫量 **16t** / 10アール

売上：100万円UP

経費：▲60万円

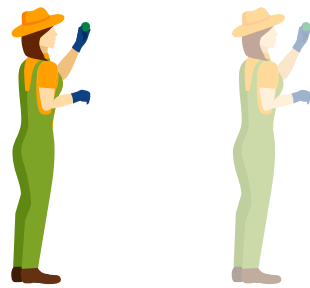


儲かる

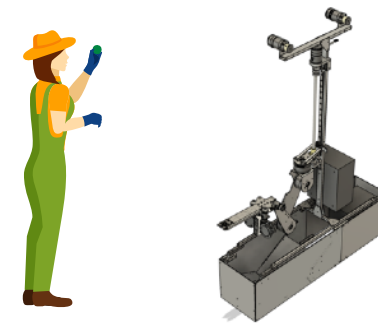
農業所得が向上②

労働力を確保▶規模2倍アップ

現状：人手不足

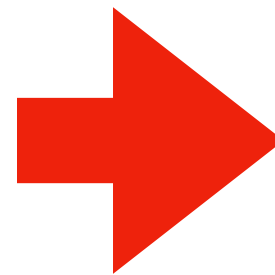


導入：労働力確保



作付面積 **30**アール

「本当はもっと規模拡大したい」



作付面積 **60**アール

所得：2倍以上UP



儲かる

なぜ、実現できるのか？

宮崎県新富町だからできる理由と強み



町全体がスマート農業を推進

若手農家が毎月勉強会

スマート農業を実践する農家と ロボットを共同開発できる



J A児湯理事



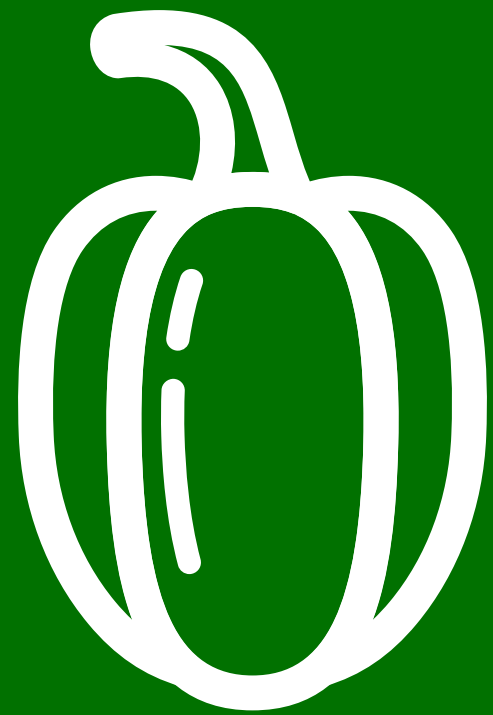
J A児湯青年部部長



新規就農者



J R九州ファーム 農場長

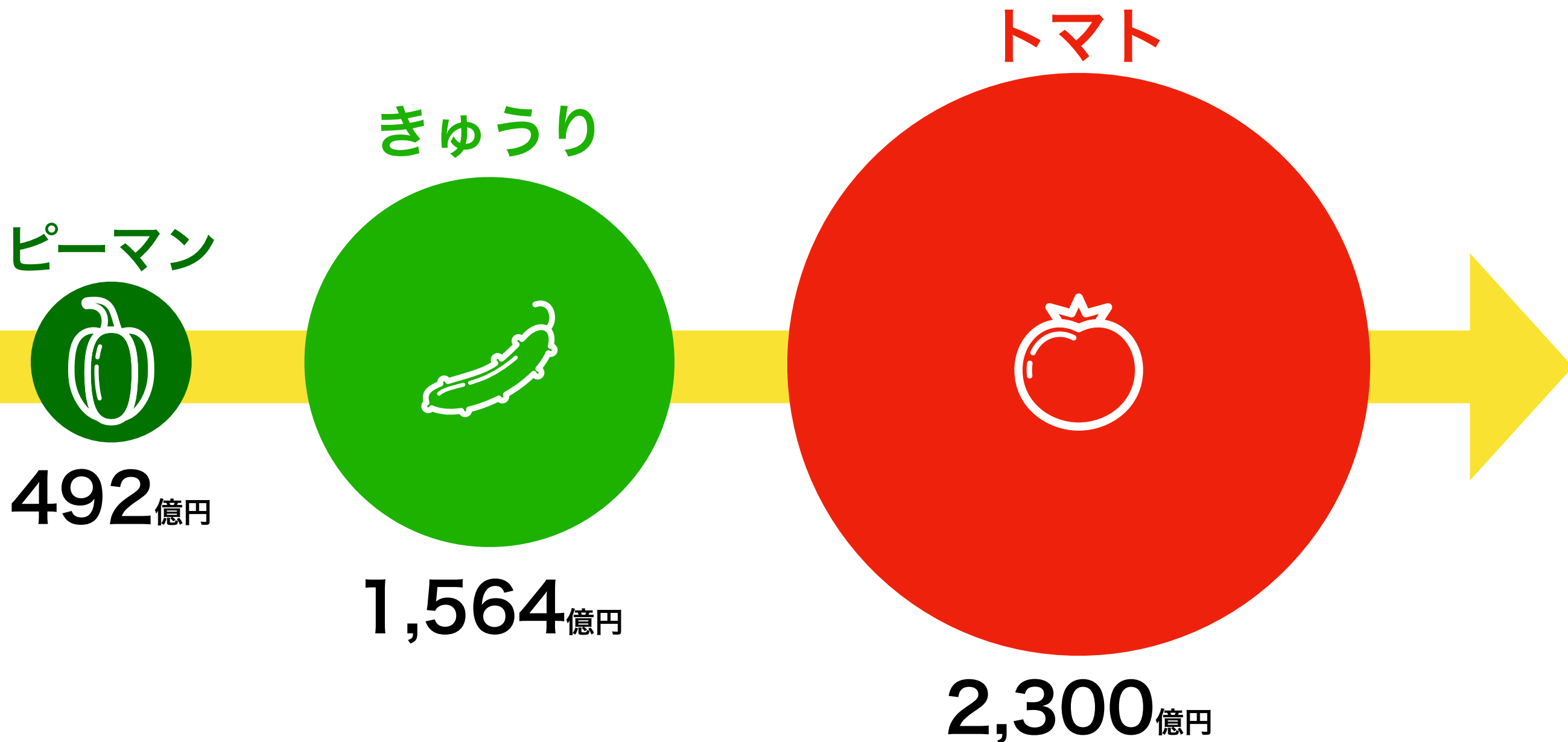


画像認識と取得の
難易度は高いが
最もシンプルな機構で
早く開発できる


ビジネス成長するのか？

まずはピーマン農家の課題解決

地域課題を解決し、他の野菜へと市場拡大



将来的には、パプリカやナスやその他の野菜・果物のロボットも開発

A large white silhouette of a tomato is centered on a solid red background. The tomato's stem and leaves are at the top, and its body is a large circle. Inside this circle, the text is written in red.

トマトの世界市場

年間1億8226万t

55兆円以上

産学官連携で共に実現

安全な現場で使える収穫ロボットを社会実装する

農林水産省



JA ACCELERATOR
POWERED BY O+1Booster



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)



宮崎県
Miyazaki Prefecture



新富町



Oita Prefectural Government

大分県



つくば市



宮崎大学
University of Miyazaki



都城工業高等専門学校
National Institute of Technology(KOSEN), Miyakonojo College



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

【委託事業・採択プログラム】

スマート農業実証プロジェクト / JAアクセラレーター
次世代イノベーター育成プログラム 「始動Next Innovator」

ステータス・タイムライン

協力してくれる農家と収穫精度を高めていく



6農家
(町内)

10農家
(近隣地域)

40農家
(宮崎県内)

120農家
(宮崎・茨城・高知
大分・鹿児島)

スマート
農業実証PJ
業務受託

10人限定
サービス開始

一般利用
予約開始

正式
サービス
提供開始

2020.04

2020.10

2021.04

2021.10

ENEOSグループと町と連携

小さな町から、共に持続可能な社会を実現



ENEOS

×



新富町



AGRISTの農業ロボット開発における新規性とスピード感、そして、町と地域を巻き込み事業を推進している点に、将来性を感じました。

ENEOSはAGRISTと協業し、

太陽光等の再生可能エネルギーで収穫ロボットが

稼働する設備を開発・展開することで、

産業の垣根を超えて、世界に向けてチャレンジしていきます。

(ENEOS 出資担当者 関氏)

SDGs/ESG投資

世界的企業ENEOSと地元銀行2行が出資



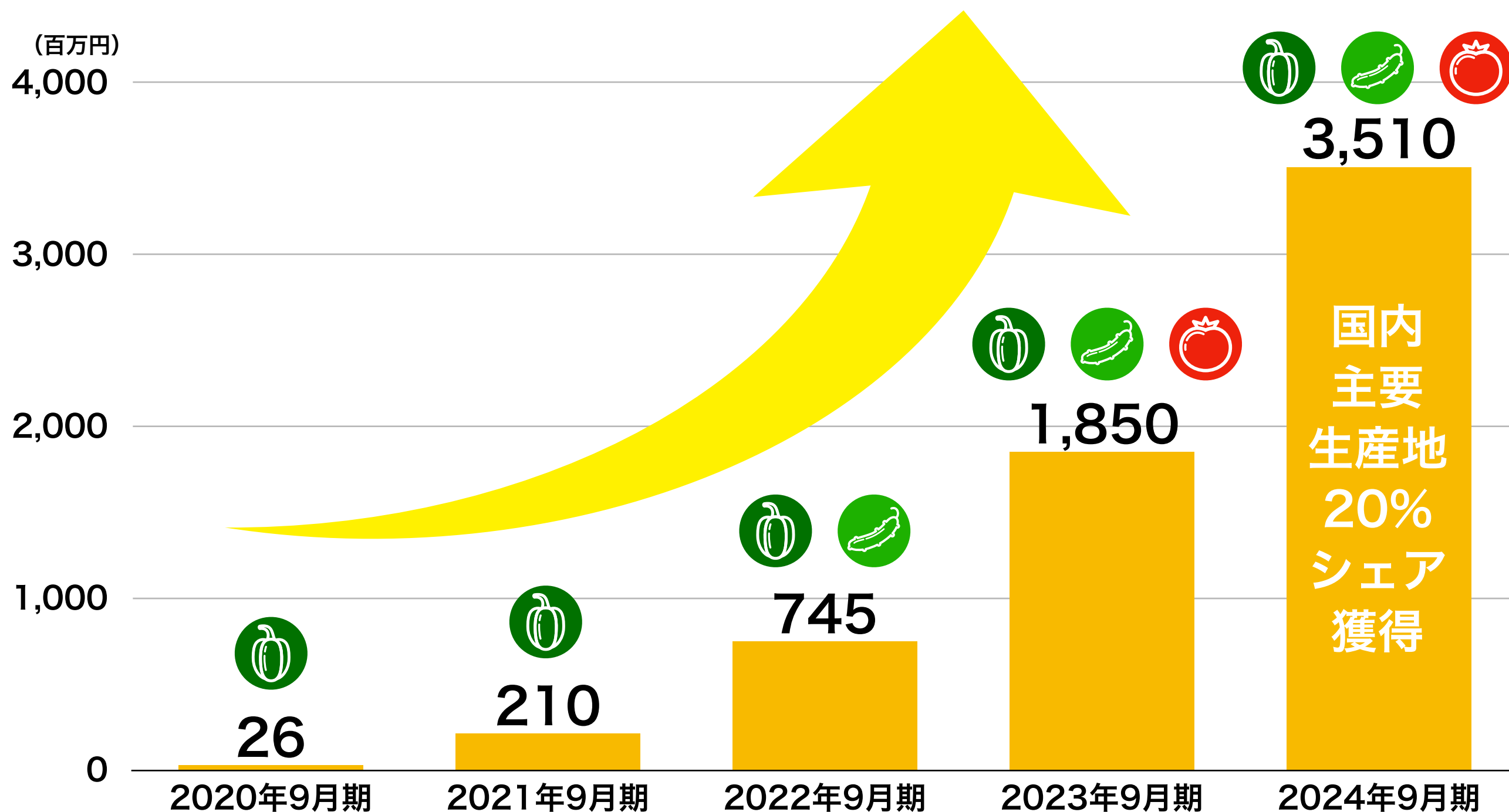
※イメージ画像

新しいPaaS = Plant as a Service

中国・インドへ「農業ハウス」パッケージを輸出

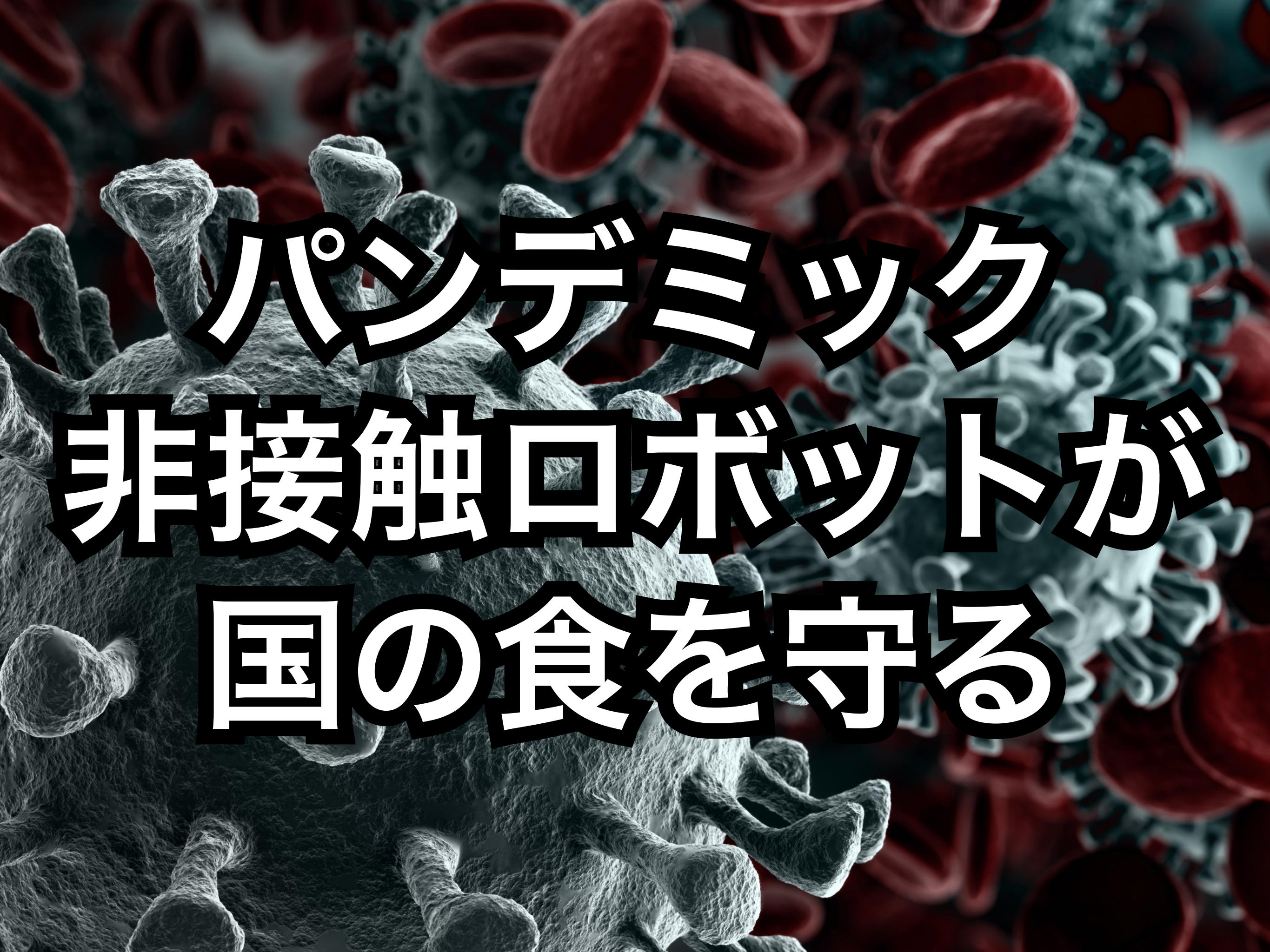
5年で売上35億円：上場と世界展開

時価総額1000億円のベンチャー企業へ更に成長

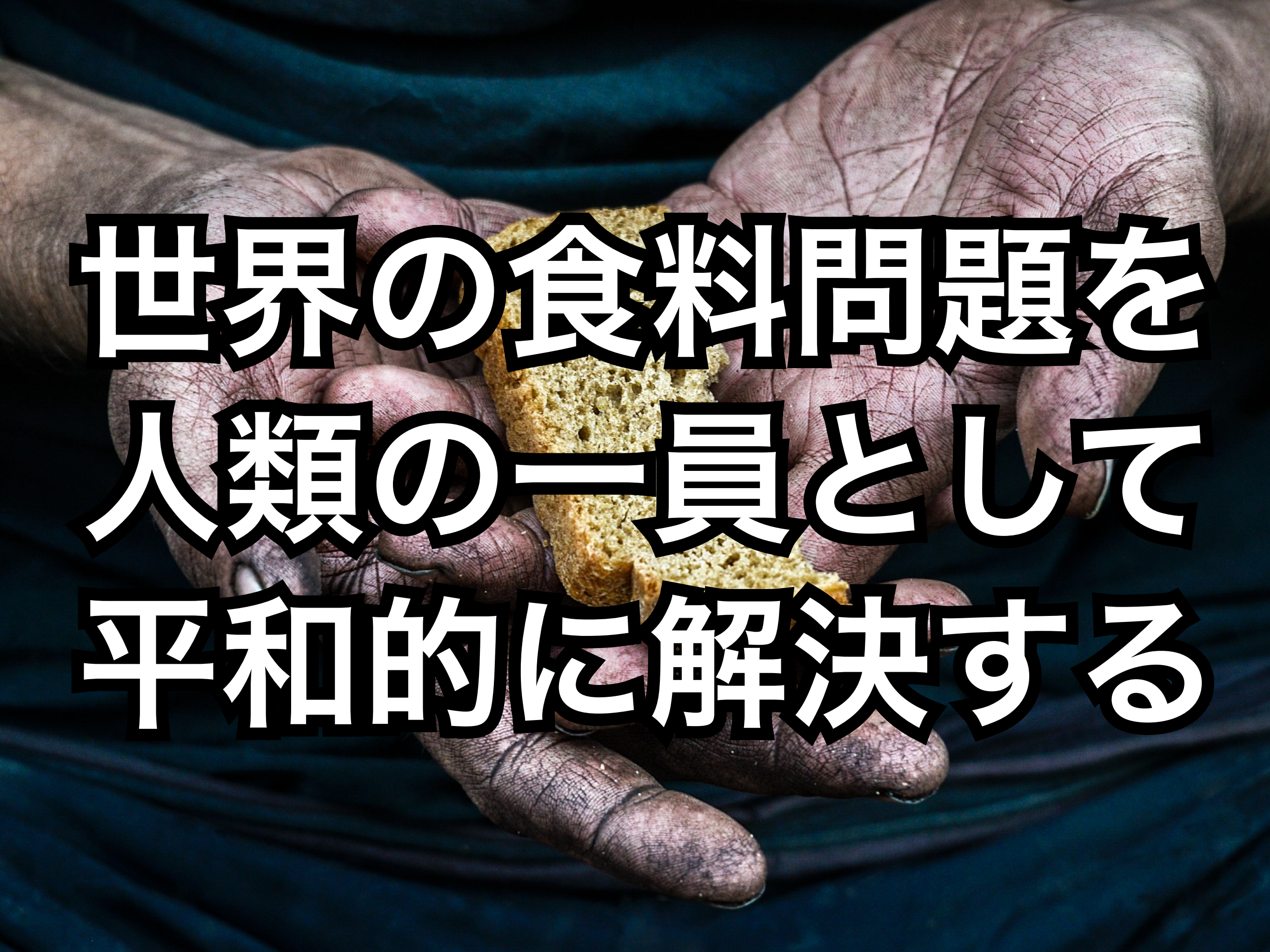


日本の地方から起こす ソーシャルインパクト





パンデミック 非接触ロボットが 国の食を守る



世界の食料問題を
人類の一員として
平和的に解決する

農家とエンジニアが共につくる

持続可能な農業と社会



応援感謝

AGRIST

NO AGRI, NO LIFE